

会議結果報告書

令和5年9月28日

会議の名称	第3回志木地区児童センター整備基本計画検討委員会
開催日時	令和5年8月25日（金）午後6時30分～午後8時30分
開催場所	志木市役所 3階 大会議室3-3
出席委員	垣野委員長、鈴木委員、津田委員、大熊委員、竹前委員、川村委員、松澤委員 (計7人)
欠席委員	佐藤委員 (計1人)
説明員職氏名	平間子ども支援課主査 (計1人)
議事概要	1. 開会 2. 第2回検討委員会議事概要の確認 3. 議題 ・志木地区児童センターの諸室について 4. その他 5. 閉会
結果	審議内容の記録のとおり
事務局職員	近藤子ども・健康部長、飯田子ども支援課長、清水子ども支援課副課長、平間子ども支援課主査、松永子ども支援課主任、草間新複合施設建設推進室主査

審 議 内 容 の 記 録

会議の開始前に会議の公開及び傍聴の有無について確認を行った。
→傍聴希望者あり 1名

1. 開会

垣野委員長より開会を告げる。

2. 第2回検討委員会議事概要の確認

質疑なし。

3. 議題

- ・志木地区児童センターの諸室について
事務局より、資料に基づき概要を説明した後、「4. 施設整備の意義」
「5. 整備の基本方針」について、再度検討を行った。

【質疑】

(「4. 施設整備の意義」「5. 整備の基本方針」について)

委員長：まず「4. 施設整備の意義」「5. 整備の基本方針」について整理
を行いたい。意見等はあるか。

委員：改めて今回児童センターを整備する背景について教えてほしい。

事務局：本市の児童センターは宗岡地区に1か所のみであり、以前他の計画
を策定する際に実施したアンケートでは、児童センターを利用しない
理由として、遠いことが挙げられていた。また、全国的に子どもの
居場所づくりが課題となっており、さらなる子どもの居場所を確保
するため、志木地区に児童センター整備するものである。

委員：宗岡の児童センターと同じようなものをつくるのか。

事務局：今回整備する児童センターは、隣にできる市民会館と市民体育館の
複合施設との連携を図るとともに、中高生も来ることができる施設
を目指す。

委員：中高生が行きたくなるような施設にしなくてはならない。そのため
には、行きたくなるようなコンテンツが必要である。

委員：立場によって、児童センターの捉え方が変わってよいと思う。例え
ば、中高生にとっては、そこに行ったら、誰かがいる。勉強ができ
る。親にとっては、子どもを安心して行かせることができる。出産
前や、子育て中の親にとっては、そこに行くのと相談ができるなど、

様々な角度があってよいと思う。

また、機能について色々と想定されているが、ここで何をやるか、こういう風に使うというのは、あまり決めすぎず、これからつくっていった方がよいのではないか。

委員：保護者同士の情報交換は意外と少ないと感じており、ここで情報交換できるようになればよいと思う。

委員：意義について、小学生と中高生は誰かと一緒に来ている想定となっている。「仲間と集うことができない子は居場所がない」という考え方もあるのではないか。意義に入れる必要はないかもしれないが、見落としとしてはいけない観点だと思う。

委員長：一人でふらっと来られるといったニュアンスが入るとよい。

委員：「誰もが」というワードも入るとよい。

委員：子どもによっては、たくさんの人数の中にいることがストレスに感じる子もいる。

委員：「誰もが」や「居場所づくり」といったフレーズはどの施設にも入っているので、他の施設と差別化が図れないのではないか。

委員長：何かするために児童センターに来るというよりも、無目的に来るといったニュアンスが入るとよいかもしれない。

委員長：文言を整理し、次回お示しする。

・「8. 各諸室の整備計画（案）」について

ワークショップ形式で検討を行った。

委員長：検討に当たっては、遊戯室ではこのようなことができるか、どのような設えにしたら使い勝手がよくなるか、どのようにしたら子どもたちがワクワクするような施設になるか、また、安全面など、どのようなことに配慮したらよいかなど、運用に関するご意見をいただきたい。

委員：すぐ近くにいろは遊学図書館があるが、児童センターの中にも図書室がなくてはならないのか。

委員長：「室」でなくでもよいが、本棚と図書の配置は必要である。

委員：パン作りなどは、いろは遊学館の調理室を使うなど、いろは遊学館も有効的に活用することにより、今回整備する児童センターでは、別の機能が確保できるようになるという考え方でよいか。

事務局：よい。

<主な意見>

○児童センターエリア

【遊戯室】

- ・遊具は、同じものを常設するのではなく、入れ替えできるものがよい。
- ・トランポリンなど、家の中では遊べない、体を使って遊べる大型遊具があるとよい。
- ・遊具は幼児のみでもよいのではないか。
- ・壁面にボルダリングがあるとよい。
- ・大型遊具は目玉になるが、設置すると自由に遊べるスペースがなくなる。
- ・大型遊具を設置しても飽きてしまうこともある。それよりも、利用者がクリエイティブに利用できる空間となる方がよい。

【創作活動室】

- ・夏休みの自由研究に対応するものづくり教室があるとよい。
- ・パソコンで映画を観ることができるとよい。
- ・大きすぎる黒板やホワイトボードに落書きができるなど普段できないことができるとうよい。
- ・食に関するものづくりができるとよい。
- ・1人で製作できる机や共同で製作できる広いフリースペースがあるとよい。
- ・クリスマスやバレンタインの時期などは、いろは遊学館の調理室を利用して料理講座などができるとよい。
- ・大きな空間を自由に使えるようにするため、パーティションで自由なスペースがつけれるとよい。

【集会室】

- ・自由にアクセスできる ICT デバイスを用意し、Wi-Fi 機能を完備するとよい。
- ・みんなが自由に支援を受けられるように、フードパントリー・フードドライブの受付場所に活用できるとよい。子どもが集まる場所で子どもたちの支援ができるようになるとよい。

【図書室】

- ・幼児向けの絵本と中高生向けの図書はエリアを分けた方がよい。
- ・自分ではなかなか買えないが、そこ行けば人気の漫画を読むことができれば、子どもたちが集まるのではないか。

- ・個人活動やグループ活用ができるように、分割・結合できる机があるとよい。
- ・中高生向けの学習スペース（個室）があるとよい。
- ・自習用の落ち着いた部屋（別室で静かに集中できる空間）があるとよい。
- ・部屋のように部屋ではない、読書や動画視聴などができるスペースがあるとよい。

【相談室】

- ・子どもも話しやすい環境を確保するため、別部屋、別空間にあるとよい。
- ・配慮が必要な子どもに限らず、子育てや担任の先生に言えないけど、誰かに聞いてほしいことなど話せる場になるとよい。

【その他】

- ・身長や視力が測定できる壁紙があるとよい。

○子育て支援センターエリア

【乳幼児室】

- ・授乳やおむつ交換できるスペースがあるとよい。
- ・調乳機能があるとよい。哺乳瓶も洗えるとよい。
- ・トイレに失敗しても帰らなくて良いように、お尻ふきや簡易的なシャワーがあるとよい。
- ・衛生面に配慮した素材（洗える、拭き取りできる素材）を採用してほしい。

○共有エリア

【事務室・受付、玄関、廊下、トイレ、倉庫】

- ・室内にベビーカーを10台程度置くことができるスペースを確保してほしい。
- ・スムーズな利用を促進するため、子育て支援センターの事務室は、職員が利用者の出入りを確認できる位置にあるとよい。
- ・物がたくさん入る大きな倉庫があるとよい。
- ・乳幼児と小中高生の利用が重なると危険もあるため、安全性を確保する観点から、入り口を分けることでスムーズな動線が確保できると思う。
- ・机や椅子がたくさんあり、ふらっと立ち寄って休憩したり、待ち合わせに利用できる自由に過ごせるフリースペースがあるとよい。
- ・入室管理する場所（利用者カードが必要な場所）と自由に利用できるスペースの棲み分けが必要である。

- ・施設利用者に限らず、授乳やおむつ交換、休憩できる「赤ちゃんの駅」のようなスペースがあるとよい。

【その他】

- ・最初から作り込みすぎず、利用者が作り出す空間になるとよい。
- ・カッコいい大人（その道のプロ、例えばダンスがうまい人など）がいると、行ってみたいくなるのではないか。
- ・人と人とをつなげることができる人がいるとよい。

○屋外エリア

- ・アリーナは予約が必要であり、気軽に立ち寄れる場所ではないので、屋外にバスケットゴールがあるとよい（ボールは貸出し）。

委員長：皆様からいただいた意見をまとめ、次回お示しする。

4. その他

次回の会議は、9月28日（木）18時30分からを予定している。

5. 閉会

垣野委員長が閉会を告げる。